和昭26年 4月 8日（日曜日）第263號　　磐城毎日新聞　　種別 第三種郵便物認可（一）（昭和二十五年十二月第621日 六號 週刊新聞認可 國特別認可）

磐城毎日

福島縣平市 兵衛興田大和 社長
15丁目12番地 發行所
株式會社 磐城毎日新聞社
編集兼印刷人 遠藤孝倫
發行人
電話（平）一二一〇番
定價 1ヶ月50円 1部2円
【夕刊・月曜休刊】

迎歡稿投

四家町長の不信任

豐間町議會で可決す

豐間町議會は五日午前九時より開き昭和二十六年度の豫算を審議したが、四家武雄町長が、町長の給與を現行七千五百圓から一萬五千圓に引上げ更に役場吏員の給與の引上げを行つたことについて、議會では議決をへないでこれを行つたのは獨善的であると反對、正午から同問題について秘密會をひらき町長の責任を追求し、午後三時議會を再開、鈴木市藏町議より町長の不信任案を緊急動議として提出、萬場一致十四對零で同案を可決し十日以內に態度を決める樣要求した、更に中學校建築に熱がないなども間接的な原因をなしている

選擧補充名簿の登錄

八日から五日間受つけ

來る地方選擧における選擧人名簿の補充登錄は平市については八日より十二日まで受けつける事となつたが登錄漏れ或は新らたに選擧人の資格を得たものは市役所庶務課申請を要する事となつている新らたに選擧人の資格を得るものは昭和六年四月二十四日までに生れたもので三ケ月以上卽ち昭和二十六年一月二十四日以前から平市內居住したものである

平市議候補 五七名に達す

共産黨から二名出馬

共産黨、古鍛治町（新）平の連合青年會評議員會を開く

平市連合青年會では四月七日午後一時より市役所會議室において昭和二十六年度の行事內容、運營方法等について評議員會を行つた

兒童の遊園地

湯本町で新設

湯本町では兒童遊園地を昨年度は五ケ所設けたが不足なので本年度は更に次の四ケ所の設置する事になつた

平市議候補の屆出でについては屢報の通りで六日正午までの立候補屆出で者は五十三名であつたが其後から七日正午までに更らに四名の屆出でがあり候補者數は合計五十七名となつた、四名の立候補次の四氏で共產黨から二名出馬した事が注目される

△永山富寬（六四）無職、市政革新會、古鍛治町（新）
△會川利一（五三）農、無所屬中神谷（新）
△武藤弘（三五）無職、共產黨胡摩澤（新）
△會川良平（三七）自由勞務者

中學卒業生の就職難

平職安管內における實情

平職安所管內新制中學卒業生就職希望者は全卒業生七千百十三日中男子千五十九名、女子六百七十九名合計千七百三十八名であるが現在は非常な就職難時代であり同職安所でもやつきになつて求人側と折衝をしているが依然として低調振りを示し六日現在までに於ける就職者は男七十六名、女百五十名合計二百二十六名に過ぎない實情で殘りの千五百十二名は未解決となつている、就職者を職別に見ると男機械鐵工方面四十九名、店員十一名食品關係八名、木工製工業八名、女子は糸へん景氣により紡績方面百坂造船所敷地內から鐵屑九三十四名、鐵工場十名、車掌六名、となつている

玉山土藏破りに 白米と麥盜まる

大野村玉屋山字間馬農業高木安之助（五三）さん方では六日午後十時頃から七日朝まで自宅裏土藏から白米一斗麥二斗を盜まれた

平の消防署員 五千圓盜まる

平市南町二十八番地平消防署員鈴木勇作（四〇）さんは六日午後十二時頃から七日午前四時頃まで自宅內から現金五千圓を盜まれた

內鄉の金ヘン泥

平市署に突出さる

內鄉町大字綴字一の坪十番地土工山野邊勇作（二九）は七日午前六時頃市內堂根町大坂造船所敷地內から鐵屑九貫目を窃盜逃走せんとしたところ同所警務係に發見され平市署に突出された

平の市例櫻まつり

國鐵營業所宣傳に乘り出す

國鐵平營業所では十日から十七日平市の櫻まつりの行事に對して各地方から招客方法を櫻まつりポスターを以つて本格的宣傳に乘り出しポスター百五十枚を常磐線取手仙臺間五十七驛、磐越東線平、郡山間十四驛の待合所に貼り付けて行つている

平市の恒例櫻まつり

平驛で保護さる

中村町の家出娘

中村町袋町料理店小林三郎さん養女サト子（一六）さんは四日家出上京しやうとしたところ平驛で平鐵道公安官に發見され保護された

石城酒造會社 キヽ酒會催す

石城酒造株式會社では八日午後一時から市公會堂日本間で第一回清酒品評會及び褒賞授與式を開催する

同町八仙、淺貝、青葉、臺の上

平市松ケ岡公園 早くも花見氣分

平市松ケ岡公園の櫻がさきそめた事については既報の通りであるが、五日早くも二分咲きとなつた櫻の下で大工さん達が總出で屋台作りに大童である、櫻まつりなど多彩な催しで、はやもうお花見氣分である

石城郡薪炭業協會 役員會を開く

石城郡薪炭業協會では四月十三日午後一時より地方事務所において昭和二十六年度の豫算及幹事選任の件について役員會を行ふ

山野邊玉吉翁 老衰にて永眠

平市飯野支所出納員（前飯野村收入役）山野邊喜一氏の嚴父玉吉翁は四日午前三時老衰のため市內北白土の自宅に於て永眠した行年七十九歲、同翁は日清、日露の兩戰役に從軍し當時では珍らしかつた金鵄勳章を贈つた元陸軍步兵軍曹で壯年時代には村內に於て幾多の名譽職に就き重きをなしたもので六日午後三時より市內北白土寶國寺に於て告別式を執行したが親戚知己多數參列し日本赤十字社長、（代讀）永山飯野支所長、山野邊正善氏等の弔辭があり盛儀であつた

狹き門の警察職員

三名募集に應募者四〇名

平市署では警察書記及雇員を募集中であつたが六日までで採用人員三名に對して希望者が四十名に登り七日午前十時から同署會議室で試驗が開始され受驗者の中には現公務員も交つているのが目立つている

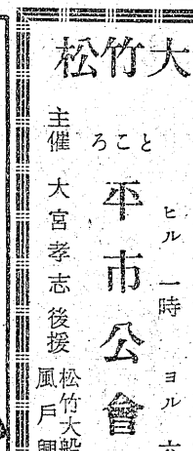
平市署では警察書記及雇員を募集中であつたが六日までで採用人員三名に對して希望者が四十名に登り七日午前十時から同署會議室で試驗が開始され受驗者の中には現公務員も交つているのが目立つている

七日晚は北東の風雨模樣の天氣
八日は北東の風後北西の風に變り曇りがちで夕刻頃から晴間が出ましよう
九日北のち西よりの風晴たり曇つたり海上は夕刻頃から波立ちますから小型漁船は充分なる注意を要す

御存知ですか？
ツルヤの入荷品!!!
◎格安純綿製品
◎ふとん皮
◎晒こ手拭
◎尙編織も近く入荷致します
ツルヤ洋品店
平市四丁目 電一四〇番

あらゆる印刷は
大和田印刷所へ
平市中町 電七二九番

9日～14日迄
長谷川、乙羽が組んでもつれて血を沸す大映獨壇上の股旅篇忘れ得ぬ面影の女を偲んで歸つて見ればはや人の妻忍んで逢つた切ない戀に劍の雨が戀と喧嘩の花模樣
主 長谷川一夫
演 乙羽信子
大映 月の渡り鳥
世界館



松竹大船不朽の名作!!
現代劇 人妻椿 全通
時代劇 眞人間 二幕
現代劇 生さぬ仲 五幕
現代劇 隅田川 五幕
と き 四月八日 舊三月三日 お節句
ヒル一時 ヨル六時
ところ 平市公會堂
主催 大宮孝志 後援 松竹大船撮影所 鳳戸興行社
一行三十名 上演狂言
川崎弘子
るに贈に春陽が松竹大船

昭和25年7月6日
（二）第三種郵便物認可　昭和26年(1951)　**磐城毎日新聞**　3月8日（日曜日）第263號

いつはりの月

飯野與田郎

…（羽黒神社の巻）…

その日は二十三夜様のお祭りで故郷も油斷をするだらうと故意をねらつて一擧に雌雄を決しようとしたのである

愈々二十三日の夜となつた月の出るのはおそいので戰ら、不思議な事があるものだと考へただけで人々はあの前の一休みとばかり隆忠はじめ家來一同は假眠にお

ちていたのである、間もなく非常を告げる太皷の音に彼等の夢は破られた

正しく月が東方の山蔭に出たのである、今の様に正確な時計もない昔の事ですから

わてふためいたに違いない親の甲を子が冠り子供の太刀を親が持ち逆馬に乘つて轉落するやらそのあわて方は誠にこつけいであつた、

鎌田氏はこの時鋭兵を率いて白土城に攻め入つたので白土方の大敗となつた事は言ふまでもあるまい

傳えるところによると鎌田方の隱密が二十三日の攻撃を知つて計をめぐらしお祭と稱して將士を集めて盛大な酒宴を張り大いに氣勢を擧げている一方かねてより命じておいた數名の者をして山崎の專稱寺の裏山に松葉を澤山積み重ねたところへ火をつけさせたのだといふ、そのたき火が天をこがしあたかも月の出しほの様に山蔭からは望まれたに違ひない

今でも白土の人々は二十三夜尊を祀らぬといふ

隆忠は後鎌田氏を征伏した功により清胤の養子となりて岩城十八代の大守となつたと傳えられる

小名濱町議の立候補

五日現在で二十四名

小名濱町議戰は三日の告示と同時に一番乘りを爭つて立候補の届出でをしたのは五日正午迄に左の如き顏觸れである大体四日は吉日とあつて届出でが廿二名五日は佛滅だと云うので、届出ては僅かに三名である、然し玆に快ニュースとも云うべきは土建請負業として小名濱郵便局の四百餘萬圓の建築、小名濱第二小講堂三百萬圓の建築を請負つた野口組の野口繁氏は何時の間にか資格審査を受けて出馬を聲明した一事であるが、氏の出馬はどの邊に大なる影響があるかが相當の波紋を畫がく問題であるが、暫く其動靜を監視する事にしよう

比佐政種（現）藤社大一（新）小野直千賀（現）齋藤誠吾（現）佐藤貞吾（現）長瀨啓二（新）林林平（現）金澤勉（現）高木嘉一郎（現）近藤かぬ（現）飯塚勝（新）野崎貞行（元）木田谷平、（元）江尻三睦郎（現）飯塚新四郎（現）小野禮一（現）鈴木いせ（新）菅原勳（現）馬上喜一（現）坪内清（現）松原文吾（新）小林仁一郎（新）小野作太郎（現）小野務平（現）

郎（植田）相良秀夫（植田）武田助治（植田）佐藤常四郎（植田）鈴木二郎（內郷）河合富次郎（錦）猪狩昇一郎（江名）綿貫みよし（勿來）鈴木武（內郷）

△美容店舖一水野スユ（平）結城テル（平）長谷ミツ、

美容理髪習練所指定さる

平保健所管內で四十軒

平保健所では縣からの指令により四月一日付から美容理髪習練所が管內に四十軒が指定された、習練生は美容、及理髪學校卒業者で指定店舖で一年習練を受け終了後縣知事から免許證を受け美容、理髪師となる譯である、管內の指定習練所は次の通りである

△理髪店舖—石崎茂（平）宮川義一（平）吉田直三郎、（平）園部清三（平）宮原貞夫（平）松本善一郎（平）高木貞雄（平）佐々木富美子（平）引地正雄（平）猪苅好（平）鈴木角太郎（平）渡部清美（平）根本辰尾（平）渡邊勝男（平）永山安藏（小名濱）安田龜吉（小名濱）高橋榮（小名濱）遊佐軍之助（小名濱）菜花清（小名濱）渡邊勝人（小名濱）四家三郎（小名濱）柿沼源三郎（植田）今村フミエ（勿來）

社會主任の會議

地方事務所で開く

石城地方事務所では四月十日午前十時より地方事務所において各町村の社會主任を集め生活保護に關する昭和二十五年度の精算事務打合及諸報告の取扱について協議會を行ふ

農業經營の講習會

十日農業會館で開く

石城郡農業協同組合青年連盟と縣指導連共催の農業經營に關する講習會は四月十日午前十時より農業會館において宮城縣農學寮長酒井馨氏を招き農協及青年の代表者約三百名が參集して行われる事となつた、その成果については各方面より注目されている

蠶糸業の協議會

六、七日の兩日開催

縣蠶糸課石城出張所では六七の兩日午前九時より片倉糸工場において蠶業技術員三十名の參集を求め昭和二十六年度の蠶糸業の技術面について協議會を開いた

女中さん病苦で ネコ自殺を遂ぐ

市內田町鑛山業佐藤精太郎さん女中白土八重さん(四七)は四日同家の炊事場でネコイラズ自殺した理由は病苦から、

小名濱便り

一

迎　佐藤第二中校長

小名濱町立第二校長問題に就ては町民の尤も強く關心を拂つて居た處であるが、去る三十一日の發表する處によると、現草野中學校長であり且つては本町第一小學校教務主任であつた、佐藤瑞枝氏が校長として發表されて居るのを散見した

元來中學校の新制度は學制の改革に依つて六三制度に依るもので其發足と同時に佐藤氏は拔擢されて草野校長に赴任したものである、當時小名濱町民としては、當時小名濱町民としては、佐藤氏の榮轉に對しては祝福せざるを得ないが、町側としては其離町を非常に惜しんだものである、そして何とか將來本町教育の爲めに盡すいを希えたいと希望したものは決して少數ではなかつた、爾來三、四年の月日は流れたが佐藤氏自身も小名濱町を忘れずに、善く年に二度三度の訪問を忘れずに舊交を溫めて居た事は佐藤氏とのつながりが、自然に深かつた事を物語つて居る

□

處が今回第二中校長として古巢に戻つて來ると云ふ事は、佐藤氏の本望でもあつたらうし、町民の期待が、通つて滿足感が橫溢したと言え得るであらう、由來小名濱町の小學校や中學校は郡內でも頭角を拔いて居る先生方が多い、そして其先生方は敎頭から他の校長となつて榮轉し、遂に又校長となつて赴任して來る、第一小高木校長然り、第二小增子校長然り第一中校長鈴木氏然りである、佐藤氏亦其例にまけずに第二中校長として赴任し來たるを見るのである

□

ここで佐藤氏とはどんな人物であるかをチヨツピリ書いて見たい、善く言ふ所の溫厚篤實と云ふ何があるが全く氏の爲めに設けられた字句であらうと思ふ位溫厚篤實である、人に接して、角の取れた圓熟した社交術をなし、容易に人をそらさない、一寸優柔ではなかと思ふ位從順である、それであつて、果斷の氣象に富み學研的の意見を常に强く抱擁して、論鋒が、鋭い、何時も論者をリードする底力の豊かな點は第一小校の高木氏には劣らないと云ふ持前を有して居る、小名濱町は一寸風習がつき合え悪い

氣象があふれて居る、是れをなをそうと云ふには其氣風を呑み込まぬと、發足を誤つて仕舞ふ、それには矢張り小名濱町を知つて呉れる人でないと地についた敎育が完全には出來ない

メカネ

御忠告の一愛讀者に告ぐ!!先日は誠に御丁寧なる御注意いただきまして本當に感謝しています

全く貴方に云はれる通りにその様な失態を幾度か發行後に氣がつき汗顏しています

ロンドンの著名新聞で名は忘れましたがその新聞社の編集長は「私の處の新聞に誤字脫字があつたら私はこの職を止めて讀者にお詫びしましよう」と言つたそうですが誠にその職責に對する責任感の旺盛さその職務に對する確信の深さに只々感嘆の聲を放すのみでありますこの様に讀者に對しての責任を感じている、人達を磐每のモツトーとしてあなたが磐每に對するあふるる様な愛情におこたえする積りです、どうか今後もお見捨なく御批判下され皆様の創意と愛情によつて鄕土の磐每に育ててゆきたいと念願しています（校正係）

開店記念
謝恩賣場
一週年感謝大賣出し
特設四月五日より九日迄

壽百貨店　平驛前

壽ホール二階

例一ノ品奉仕

純毛フラノ服地	6.500圓ノ品	4.300圓	
春ノ新柄銘仙		550圓	
メリヤス	450圓ノ品	380圓	
粉ミルク(225g)	120圓ノ品	100圓	
男ズボン	1.800圓ノ品	1.300圓	
婦人雨靴	750圓ノ品	630圓	
背廣三組	4.500圓ノ品	3.500圓	
ランドセル	630圓ノ品	500圓	

その他奉仕品澤山ございます

三菱の新利殖法

遊資金とお手持株券の利殖は永年の經驗と信用第一の當社に御相談下さい

一、金額　五千圓以上
一、利廻り　配當月拂三十五分
一、期間　三ケ月
一、擔保（御安心の爲一流花形株券差上げます）

▼お手持株券がありましたら同樣利殖の御相談に應じます
▼殊に俸給生活補助には諸官廳醫視廳方面よりも多大の御好評を頂いて居ります
▼御申越に依り營業案內書贈呈
▼金融の御相談に應じます
▼日曜、祭日、無休御氣輕に御來社を御待ち致します

本社　東京三菱相互融資株式會社
互　平營業所
平市白銀町十番地（驛前通り）
電話　六三五番

INKI
インキはメーゼンインキ
優良な各種万年筆は
55圓
平市中央通り　電話三九九番